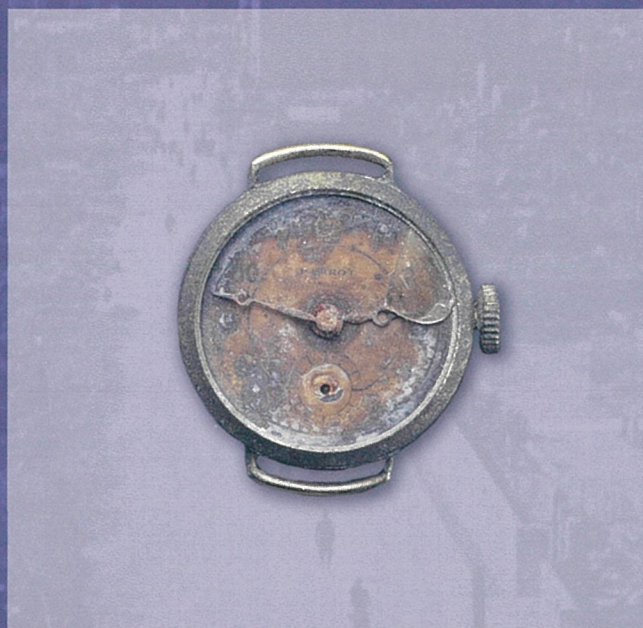


今はもう動かない

でも、まだ終わっていない



第45回岡山戦災の記録と写真展

岡山空襲展示室開設 10周年記念

今、見つめなおす戦争・空襲・平和

2022年

6月3日(金)～6月30日(木)

会場 岡山シティミュージアム4階企画展示室

開館時間 午前10時～午後6時 ※入館は午後5時30分まで

休館日 毎週月曜日

入場
無料

主催 岡山市 共催 岡山市教育委員会 後援 岡山県教育委員会 協力 岡山市立中央図書館

EXHIBITION ROOM OF
THE OKAYAMA AIR RAIDS
岡山空襲展示室
10th anniversary

私たちが暮らす岡山の街は1945年6月29日にアメリカ軍の爆撃機B-29による空襲を受けました。当時の市街地の63%が焼け野原となり、多くの人々が住む家を失い、傷つき、亡くなりました。岡山だけでなく、広島と長崎への原爆投下も含めて日本の66都市が空襲により破壊されています。しかし、長い年月のうちに当時の様子を知る人も減り、戦争や空襲に関する記憶と実感はうすれつつあります。

一方で、今なお世界各地で戦争が起こり続け、多くの人々が傷つき苦しんでいます。平和を実現するためには、私たちの街が過去に経験した戦争や空襲の経緯と被害を正しく把握し、次の世代へ伝えていくことが重要です。

今年の岡山戦災の記録と写真展では、岡山空襲がどのように計画・実行され、空襲でどれだけ被害が発生したのか、戦争で人々の生活がどのように変化し、焼け野原となった街が戦後どのように復興していったのかについて、さまざまな資料と写真、証言をもとに紹介します。また、2012年に開設した岡山空襲展示室が今年で10周年を迎えるにあたり、これまでの活動をふりかえるコーナーも設けます。

この展示会をとおして、平和の尊さと戦争の悲惨さを考えていただき、また多くの資料を残し伝えてきた先人たちの営みを知っていただければ幸いです。

岡山空襲について

1944年から翌年にかけて、日本全土において市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山市の場合は1945年6月29日に大規模な空襲を受け、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人*の死者が出ました。（*2000人をこえるという説もあります。）

記念講演会

演題 「戦争・空襲を継承する取り組みの現状と課題」

講師 水島 久光 さん（東海大学文化社会学部 教授）

日時 2022年6月18日（土） 午後1時30分～3時30分

場所 岡山シティミュージアム4階講義室

定員 40名（先着順）※事前申込不要

担当学芸員による展示解説

日時 毎週土曜日・日曜日 午後2時～3時

（6月18日（土）は実施しません）

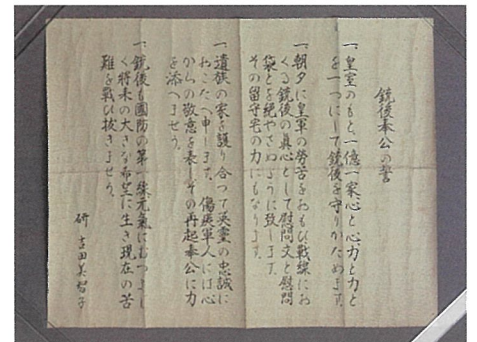
場所 岡山シティミュージアム4階企画展示室※事前申込不要

新型コロナウイルス感染症対策につきまして

- ・マスクの着用、咳エチケットや手指の消毒などの感染予防にご協力をお願いします。
- ・咳や発熱などの症状がある方は、入館をお控えください。
- ・展示室内では最低1メートル以上の距離を保ちながらご鑑賞ください。
- ・受付にて係員による体温測定を受け、お名前・連絡先などを記入票にご記入ののち、ご入場ください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で会期や内容等が変更になることがあります。
- ・最新情報は岡山シティミュージアムHPにてご確認ください。
(<https://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>)



空襲される岡山市街地 1945年6月29日
米国立公文書館所蔵・工藤洋三提供



銃後奉公の誓



警防団防空隊の分列式
1942年11月29日

※チラシ表面の写真

(中央)

空襲から4分後を指したまま止まった腕時計
(背景)

岡山市公会堂（現・県庁付近）から西を見る

1945年10月、矢延眞一郎撮影



岡山市北区駅元町15-1

岡山空襲展示室

TEL 086-253-7070

岡山シティミュージアム

TEL 086-898-3000

JR 岡山駅から東西連絡通路で直結

